

イオンマレーシアの「イオン ふるさとの森づくり」が「VOLUNTEER MALAYSIA AWARDS 2016」 Private Sector で “Best Volunteer Initiative” を受賞

マレーシアで小売事業を展開するAEON CO. (M) BHD. (イオンマレーシア) は、1991年より取り組んできた植樹活動「イオン ふるさとの森づくり」が評価され、同国の非営利団体 iM4U が主催する「VOLUNTEER MALAYSIA AWARDS (ボランティア マレーシア アワード) 2016」の Private Sector (民間部門) における最優秀賞である “Best Volunteer Initiative” を受賞しました。



12月9日(金)の授賞式でトロフィーを授与されるイオンマレーシアの代表者(左)



受賞トロフィー

「VOLUNTEER MALAYSIA AWARDS」は、ボランティア活動を通じてマレーシアの豊かなくらしづくりに貢献した企業・団体を表彰する、同国初のボランティア表彰制度です。ナジブ・ラザク首相の働きかけにより本年創設されました。同国内の若者のボランティア活動を推進する非営利団体 iM4U が主催しており、13部門で審査が行われます。

「イオン ふるさとの森づくり」は1991年、マレーシアのジャスコマラッカ店(現 イオンマラッカショッピングセンター)からスタートしました。

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」ことを基本理念とするイオンは、経済成長が進展する一方で大気汚染などの公害が社会問題となる中、自然の恵みを失うことは豊かさの根源を失うことであるとの危機感を抱き、地域に根ざす小売業としてできることを模索しました。そこでジャスコマラッカ店から、国内外で新店舗がオープンする際にその地域に自生する「ふるさとの木」をお客さまとともに敷地内に植樹する「イオン ふるさとの森づくり」を始めました。その後も公益財団法人イオン環境財団との植樹活動などに取り組み、同国におけるイオンの累計植樹本数は、現在までに51万本を超えています。

このたびの受賞について、iM4U の Rudy Malik CEO からは「長きにわたり続けられた『イオン ふるさとの森づくり』は、マレーシアの人々の環境意識の向上に大いに貢献した。今後こうしたボランティア活動に取り組む企業が増えることを願っている」との趣旨のコメントがありました。

イオンがこれまで植樹した11カ国での累計本数は1,117万本、参加人数はのべ111万人を超えています。イオンは本年10月からの1年間を「イオンの植樹25周年」としグループを挙げて、地域のため、未来のために木を植え、育て、活かしてまいります。

【植樹に関するイオンの取り組み】

- 1965年 岡崎オカダヤ開店時に1,000本の桜を岡崎市に寄贈
- 1989年 イオングループ1%クラブ(現 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ)発足
企業市民として環境保全・社会貢献活動を推進するため、グループ主要各社が税引き前利益の1%を拠出し、活動しています。
- 1990年 財団法人イオングループ環境財団(現 公益財団法人イオン環境財団)設立
- 1991年 「イオン ふるさとの森づくり」スタート
マレーシア・ジャスコマラッカ店(現 イオンマラッカショッピングセンター)開店以来、新店オープンの際に地域に自生する木々を植樹しています。
- 1998年 「万里の長城・森の再生」プロジェクトスタート
2010年には、累計植樹本数が100万本に達しました。
- 2010年 イオン生物多様性方針策定
事業活動における生態系への影響を把握し、お客さまや行政、NGOなどと連携しながら、生態系への影響の低減・保全活動を積極的に行っています。
- 2011年 イオンサステナビリティ基本方針策定
「低炭素社会の実現」「生物多様性の保全」「資源の有効利用」「社会的課題への対応」を4つの重点課題とし、それぞれに指標を設けて進捗管理を行っています。
- 2012年 「復興への願いをカタチに」30万本植樹スタート
- 2013年 1,000万本突破
- 2014年 木を「植える」「育てる」「活かす」、「森の循環プログラム」スタート
- 2016年 「イオンの植樹25周年」